



2023年5月 (No.8)

さわらkikanトピックス

早良区第1障がい者基幹相談支援センター たより

新年度になり、外出時にマスクを外している方を見かける機会が増えてきました。5月には新型コロナもⅡ類からⅤ類に引き下げられ、生活様式も少しずつコロナ以前の状態に戻っていくものと思われます。それに伴い、当センターへの問い合わせや相談は、年度末から急増傾向にあります。障がいをお持ちの方々も積極的に変化を求めているのではないかと思います。

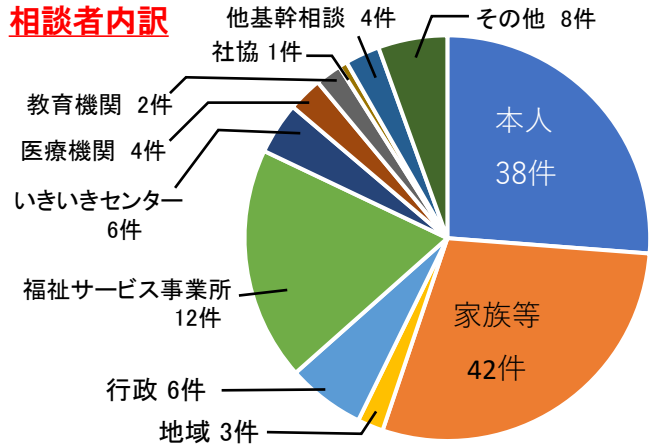
令和4年度の新規相談と内訳について

新規相談件数 (145件 うち継続対応73件)

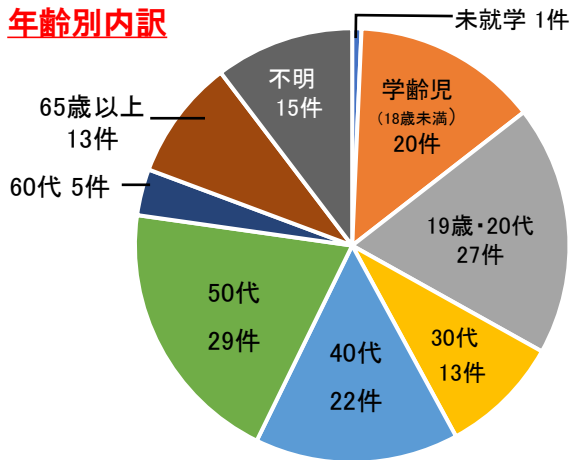
障がいの内訳

身体障がい	: 24件
知的障がい	: 22件
精神障がい	: 87件
難病	: 7件
不明	: 10件

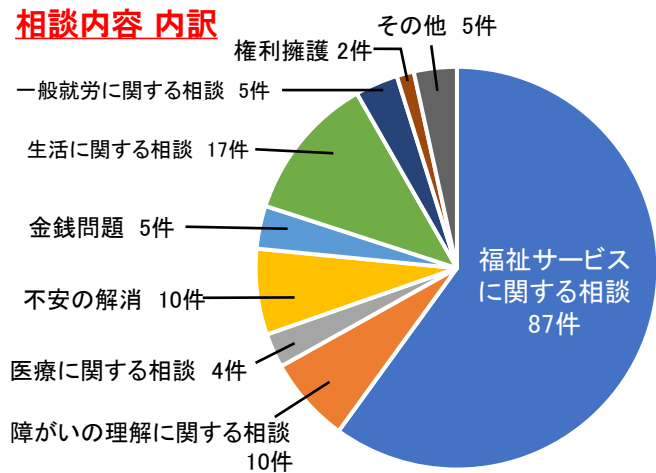
相談者内訳



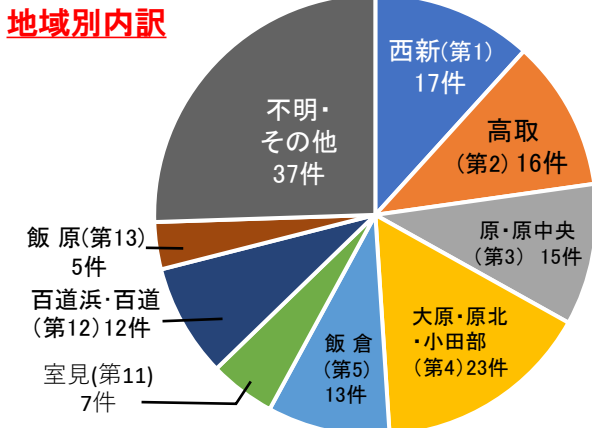
年齢別内訳



相談内容内訳



地域別内訳



令和4年度の新規相談の特徴

令和3年度に比べ、問い合わせは20件近く増加しています。相談者については、これまでと同様、精神に障がいをお持ちの方が多くとりわけ、発達障がい(特に自閉スペクトラム症)のある方についてのが増えています。相談の内容については、一貫して福祉サービスに関する相談がで最も多く(87件)、その中でも計画相談、就労サービス、グループホームに関する問い合わせが多くを占めていますが、中には、潜在的にさまざまな問題を抱えておられる方もいます。また、相談地域については、昨年度でに比べて地域差は減っており、基幹相談が年々周知されているのではないかと思います。

ネットワーク活動について

区基幹相談支援センターの役割について、地域にお住まいの方の相談対応に加えて地域づくりとしてのネットワーク活動もその1つです。

区基幹相談支援センターで対応した相談の中には、解決が困難で課題が残る場合もございます。ネットワーク活動は、区内の関係機関と協力し、このように困難な課題を持つ方々における解決のための手段となり、活動を通じて新たな地域の資源が生み出されることを目的に取り組んでいます。

ネットワークづくり



令和4年度のネットワーク活動の取り組み

さわら障がい福祉ネット

早良区の全障がい福祉事業所を対象に開催しています。令和4年度は「みんなで作ろう、さわらの福祉」とテーマに地域の課題について検討する会を11月15日ともてらす早良にて開催しました。



(写真上) さわら障がい福祉ネットのようす

さわら子ども福祉ネット

早良区の障がい児に関わる関係者（福祉事業所や学校など）を対象に1月26日ともてらすさわらにて開催しました。令和4年度は「家族全体的に支援が必要なケース」をテーマに事例報告・グループワークを行いました。



(写真下) さわら相談ネットのようす

さわら相談ネット

早良区の相談支援事業所を対象に、情報共有やスキルアップを目的として、研修や意見交換、事例検討会を行っています。

昨年度は3回、ももち福祉プラザにて行いました。

◆連絡先



電話、FAX、来所、訪問等 ご希望に合わせて対応します。

TEL:(092)847-2764/FAX:(092)847-2765 E-mail momo@fc-jigyoudan.org

早良区第1障がい者基幹相談支援センター(福岡市早良区西新7丁目15-9)

発行元 福岡市社会福祉事業団

発行月:令和5年5月

